

山 口 新 聞

平成 29 年 2 月 3 日 (金)

NO.235



㊦ 会員の皆さん
㊧ プランター植栽



農地・水・環境
守ろう地域の
手で



235

農地保全で地域の景観守る

大富保全会 (山口市)

大富は旧山口市北端(仁保の最北部)に位置する山間地で、高齢化が進み、鳥獣被害が激しい地域。当保全会は耕作放棄地の拡大を防ぐために、1965年に廃校となった大富小学校を中心とした四つの集落(揚山、金坪、大畠、一ノ瀬)の有志と自治会などで2012年に発足した。主に米と麦を栽培し、昔から「仁保上郷(大富)の米はおいしい」との評判をいただいている。「米の収益は上がらなくても、米作りは守っていききたい」との思いは強く、そのために農地や農業用施設の保全活動を行っている。どこの中山間地域も一緒とは思いますが、夏場の草刈りなどはなかなか大変で限界を超えている。もっと多くのほ場を守っていききたいという気持ちと、農作業の限界との板挟み状態にあるのが本音である。大富には、ホタルが乱舞し、カジカガエルが美しい鳴声を奏でる豊かな自然環境が残り、プランターによる花の植栽など集落景観形成にも取り組んでいる。

活動を多くの人に知ってもらうと、毎年新しい看板を設置。今後も地域景観を維持するために、参加者全員で力を合わせて頑張っていきたいと思っている。

(会長、伊藤利宗)
|| 金曜日掲載 ||

【メモ】会長 || 伊藤利宗
▽ 会員 || 24人、農家(21戸)、
農事組合法人大富、仁保自治会、仁保土地改良区▽ 設立 || 2012年4月1日▽
連絡先 || 山口市仁保上郷5
84の5、伊藤利宗さん、電
話 0833・929・009
6(上郷ライオンセンター内)